

軽量化×GHG排出量低減の可能性

ユーザーメリット

▶ 定量的メリット

- ・部品寿命を損なわずにGHG排出量削減が可能となる
- ・軽量化だけでなく、GHG排出量低減の効果確認も可能となる

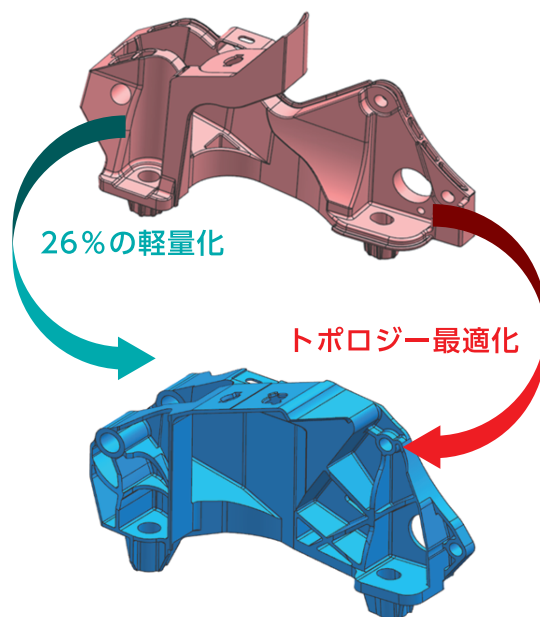
▶ 上記の裏付けとなる関連データ・図表

右記のブラケットの提案においては部品1個当たり26%の軽量化で2.73kg-CO₂e/1個の削減効果

自動車パーツにおける想定適用部位

- ・ブレーキペダルブラケット
- ・やぐら部品
- ・シリンダーヘッドカバー等多数

提案例



お客様からの声

- ▶ トポロジー最適化の結果から射出成形可能な形状への落とし込みに旭化成のノウハウを感じた。

採用実績

- ▶ トポロジー最適化を利用した軽量化提案は多数実施している
- ▶ 採用事例
 - ・キャリアプレート
 - 今後は自社素材以外の解析も受注する予定

その他製品情報

競争優位性	旭化成材料に関して、製造生データから算出しているため、精度高く評価が可能 トポロジー最適化による軽量化提案実績
サステナビリティ	軽量化効果が生み出すGHG排出削減効果の算出
背反懸念事項	他社材の算出は参考値からとなる